

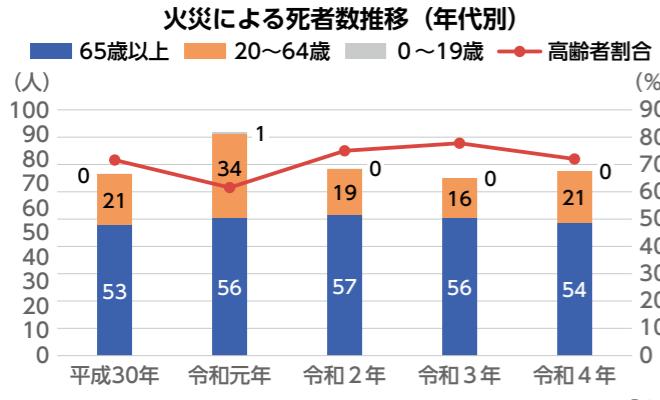


高齢者の火災被害が増えています。

令和4年中、東京消防庁管内の火災件数は3,953件、死者は75名、負傷者は718名でした。

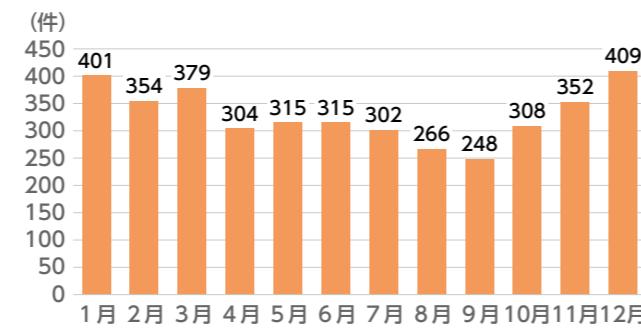
負傷者については、前年比71名増加しています。高齢者（65歳以上）の火災被害割合が年々増加傾向にあり、令和4年は死者75名中54名と7割以上、負傷者718名中449名と6割以上を高齢者が占めています。

乾燥による火災が起りやすい時期になりますので、くれぐれも注意しましょう。



出典：東京消防庁HP「令和5年版 火災の実態」より

令和4年火災発生件数（月別）



△ 通報や心肺蘇生などの緊急時にも役立つ /



△ オフラインで利用できるアプリです /



いざという時に備えて、ご活用ください

▶ A. 防災クイズ（表面） 答え

Q1 〈正解〉 A. 火事ですか？救急ですか？

総務省消防庁が公開している手順は、以下の通りです。

① まずは、「火災か救急か」を聞かれるので（交通事故ならその旨も）伝えてください。

② 次に「場所」を聞かれます。住所や交差点、近くの建物の名前など、目印になる情報を伝えてください。

③ その他

- ▶ 傷病者・具合が悪い方の情報（年齢、性別、どのような容態か）
- ▶ 通報者の名前・電話番号（連絡先）など

point!

消防は救急車をいち早く向かわせるため、容態などの状況より先に「場所」を尋ねます。

①と②の回答だけでもまずは出動できますので、消防からの質問に落ち着いて回答するよう心がけましょう。



Q2 〈正解〉 C. 一人だと危険なので、何人かでまとまって避難する

特に夜間、避難などのために移動する場合は、万一に備えて、複数人で行動しましょう。



point!

台風等で道路が冠水している、または冠水する可能性がある場合、長靴は水が入るとかえって重くなり危険です。運動靴で避難するようにしましょう。

また、避難時には停電していても、通電した際に家電が元で火災が発生するケースもあります。

コンセントが抜けていれば火災発生のリスクを抑えられますが、災害時に家中のコンセントを全て抜いて回るのは危険が伴う可能性があります。ブレーカーを落とし、速やかに避難に移った方が安全です。



見守りめぐねっこ

ねつとわーく通信

発行：目黒区

第28号
令和5年度冬号
(年2回発行)

＼見守ろう 地域の安全 /



防災につながる地域の見守り

災害時は、「自助」「共助」「公助」の3つの機能が生死を分けるポイントです。

まずは「自助」ですが、一人でできることには限界があります。「共助」といっても、どこにどんな人がいるのかわからなければ、いざという時にお互いに助け合うことは難しいかもしれません。そこで、日頃から地域内で顔の見える関係性を築いておくことで、もしもの時に備えた「共助」の土台ができます。

令和5年夏“地域防災”をテーマに

目黒区見守りサポーター養成講座を開催しました。

地域をゆるやかに見守る「見守りサポーター」の養成を目的に、平成26年度より講座を開催しています。

令和5年度第1回は、「防災活動から学ぶ 地域の見守り」をテーマに、目黒区で活動されている「チーム防災めぐろ」石川貴章様をお招きし、防災の視点から見た孤立の危険性、いざという時に自らの身を守り、地域でお互いに助け合う「備えとしてのゆるやかな見守り」の大切さについて、お話をいただきました。また、日頃から地域で見守り活動をされている方々からも、実際の体験談を交えた活動報告をいただき、参加者からも「具体的な話が聞けて良かった」「日頃から地域のことを気にかけておくことで、もしもの際に落ち着いて対応ができる」など、多くの感想をいただきました。



地域の皆さまの些細な気づきが、もしもの時の備えにつながります

気がかりなことがあれば、各地区の地域包括支援センターへご連絡、ご相談ください

連絡先 北部包括支援センター ▶ 5428-6891 FAX: 3496-5215
東部包括支援センター ▶ 5724-8030 FAX: 3715-1076
中央包括支援センター ▶ 5724-8066 FAX: 5722-9803
南部包括支援センター ▶ 5724-8033 FAX: 3719-2031
西部包括支援センター ▶ 5701-7244 FAX: 3723-3432

開設時間 月曜から金曜日 午前8時30分から午後7時まで
土曜日 午前8時30分から午後5時まで
(祝・休日、年末年始を除く)



緊急を要する場合は、こちらもご活用ください！

事件・事故
悩み・心配
助けて！そのとき
110番
#9110

目黒警察署 防犯係 3710-0110
碑文谷警察署 防犯係 3794-0110

病院？救急車？迷ったら…
東京消防庁救急相談センター
7119 24時間対応
年中無休

つながらない場合は 3212-2323

防災クイズ



＼もしもに備える /

Q1

119番通報の際、最初に聞かれるることは次のうちどれでしょう？

- A. 火事ですか？救急ですか？
- B. 救急車が向かう住所は？
- C. あなたのお名前と連絡先は？



Q2

夜に台風が近づき、道路が冠水したので避難を考えました。その時に取るべき行動はどれでしょうか？

- A. 足が濡れると歩きにくいので、長靴を履いて避難する
- B. 強い風が吹くと危険なので、何も持たずに避難する
- C. 一人だと危険なので、何人かでまとまって避難する



クイズの答えは裏面へ

見守りめぐねっとの活動を紹介します！



北部

駒場かかしプロジェクト

北部包括支援センターでは、住区等のお祭りやマンションの自治会との話し合い、目黒川の清掃活動等に参加し、区の見守り事業や地域包括支援センターの活動についての周知や、地域の方々との交流を行っています。

今年度は「駒場かかしプロジェクト」に出展。見守りめぐねっとのキャラクター「まもりん」をモチーフに“かかし”を作製し、目黒区の見守り活動についてPRを行いました。



認知症地域支援連絡会

中央包括支援センターでは、地域における顔の見える関係づくりのきっかけの場として、医療・福祉・介護関係者とともに、認知症を抱える方々や家族の支援体制強化に向けた連絡会を開催しています。

今年度は、11月に、目黒中央の家地域交流スペースにて実施し、講義とグループワークを行いました。また、地元小学校での認知症サポーター養成講座や地域住民に向けた講座等も実施しています。

西部



西部地区集合住宅連携懇談会

西部包括支援センターでは、9月に「集合住宅連携懇談会」を開催しました。地域のマンション理事や管理人の方々等にご参加いただき、実際にあった「認知症の方々を見守る住民と連携した事例報告」の他、区の高齢者施策（ひとりぐらし等高齢者登録、介護予防講座など）の説明を行いました。

参加者同士の活発な意見交換もあり、「地域で心配な方の見守りに役立つ事業の話が聞けた。早速理事会で周知を図っていきたい」等の感想をいただき、有意義な懇談となりました。



地域包括支援センターでは、様々なテーマを設けた講座や研修会、身近な地域での出張相談会や居場所づくり、地域の方々との連携を図る懇談会等を実施しています。ご興味がある方は、お近くの地域包括支援センターへお声掛けください！

中央



東部



ふれあいの居場所

東部包括支援センターでは、目黒1丁目都営住宅の集会室を活用して、毎月第3金曜日に「ふれあいの居場所」を開催し、都営住宅や周辺住民の方々の居場所づくりを行うことで、地域コミュニティの活性化を図っています。

住民の方々からのご要望を伺いながら、介護予防出前講座や目黒警察署防犯活動アドバイザーの講話などを開催しており、活動を通して、地域住民による見守りの重要性をお伝えしています。

南部

中央体育館 敬老の日出張健康相談会

南部包括支援センターでは、区立中央体育館で開催された敬老の日イベントに併せて、「出張健康相談会」を実施しました。血管年齢測定や健康相談などを通して、区の見守り事業や地域包括支援センターの活動の周知を行い、地域の方から、「困った時の相談先を事前に知ることができて良かった！」「気がかりな方がいたら連絡します」などのお声をいただきました。



見守りめぐねっと 新規登録事業者インタビュー

京王自動車(株) 目黒営業所 様



京王自動車では、これまで多摩エリアで、行政と災害時や見守りの協定を結び、心配なお客さまがいらっしゃれば関係機関に相談するなど、見守り活動を行ってきました。目黒区でも見守り事業があることを知り、都内でもご高齢のお客さまや地域の見守りにご協力できたらと思っています。



(株)セイワライフ 様

約半世紀、緑が丘駅前で地域密着の不動産屋を営んでいます。朝は大勢の小学生が店の前を通るため、ゆるやかに見守っています。店にも時々道を尋ねて来る方や、「書類の書き方を教えて」とお茶を飲みながら近所の方が来店されます。今後も地域の繋がりを大切にしながら、「見守り」もできる協力を協力していきたいですね。

協力団体・機関・事業者の一覧は、目黒区のホームページにてお知らせしています。

見守りめぐねっと 検索

スマートフォンや
タブレットでQRコードを
読み込んでください。



ご登録・お問い合わせは地域包括支援センターまで。

新規協力事業者
随時募集中！